

<標準使用量>

布、吹き付け、刷毛（ローラー） 50～70g/m²（標準施工1～2回塗り）

塗布量が多く必要な場合（凸凹の場合）は、1回目塗布後、1～2時間放置し、2回目塗布する。必要に応じ、これを繰り返す。また、同量塗布の場合、1回塗布よりも、薄く2回塗布した方が、きれいに仕上がります。塩害防止目的等の外部保護の場合は塗布量を多くして下さい。

<適応基材> ステンレス、アルミ、銅、真鍮等の金属

<希釈量> 希釈なし

<塗布方法> 布、吹き付け、刷毛（ローラー）

<乾燥時間> 触感乾燥；1時間～2時間 完全2-4日程度（25℃）（効果発現）

<標準施工手順> ローラー、刷毛共（素地調整）付着汚れ等洗浄後、乾燥した面とする。

工程	商 品 名	塗布回数	塗布量（g/m ² ）
	FCP コート	1又は数回	50～70g/m ² 2回目塗布は1-2時間後塗布

<商品荷姿> 1ℓ、2ℓ

<施工上の注意>

※ 施工に際してはマスクと手袋、メガネを使用してください。

※ 1：使用器具は、布、吹き付け、刷毛（ローラー）を使用してください。

2：施工終了時に、アルコール、シンナーで洗浄してください。

3：ローラー施工の場合、材料をローラーに含ませ、十分に置いてから施工してください。

※ 天候等についての注意

1：湿度80%以上、温度35度以上、温度5度以下、強風の場合は施工を控えて下さい。

2：10時間以内に降雨が予想される場合も施工を控えてください。

※ 施工環境

1：周囲に車両や植栽及び建物などがある場合、十分に養生を行ってください。

※ 保管上の注意

1：火気厳禁 2：アルコール溶媒ですが子供さんの手が届かない所に保管して下さい。

3：直射日光を避けて保管してください。 4：製品の有効期限は出荷後6ヶ月です。

※ 応急処置

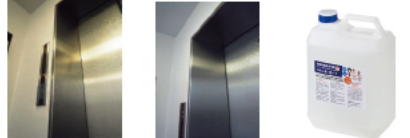
1：目に入った時、直ちにきれいな水で洗浄し、病院で診察を受けてください。

2：皮膚についた場合には石鹸等で洗い流して下さい。

3：作業終了時に手洗いとうがいをしてください。 ※ その他の注意 SDSを参照の上、お取り扱い下さい

【金属汚れの主な洗浄剤】

ステンレス汚れ・貫き錆
（ステンレス等金属洗浄剤S1）



アルミサッシに付着したペンキ汚れ
（剥離スーパーM8）



アルミサッシの白錆
（エフロ錆取り用洗浄剤S5）



重度のステンレスの錆汚れ
（タイル洗浄剤S3・エフロ錆取り用S5）



鉄部塗装面の錆・銅板汚れ
（さび取り洗浄剤A4）



頑固な調理場油汚れ・機械油汚れ
（オイルリムーバーA9）



 株式会社 プラザ・オブ・レガシー
〒367-0063 埼玉県本庄市下野堂 605-10
Tel. (0495)21-6530 Fax.(0495)21-6650
URL <http://www.plaza-l.com>
予告なく仕様変更になる場合があります。

 株式会社 プラザ・オブ・レガシー

手油を防ぐ抗菌の金属防食コート

F (finger) P (paint) C (clean) コート

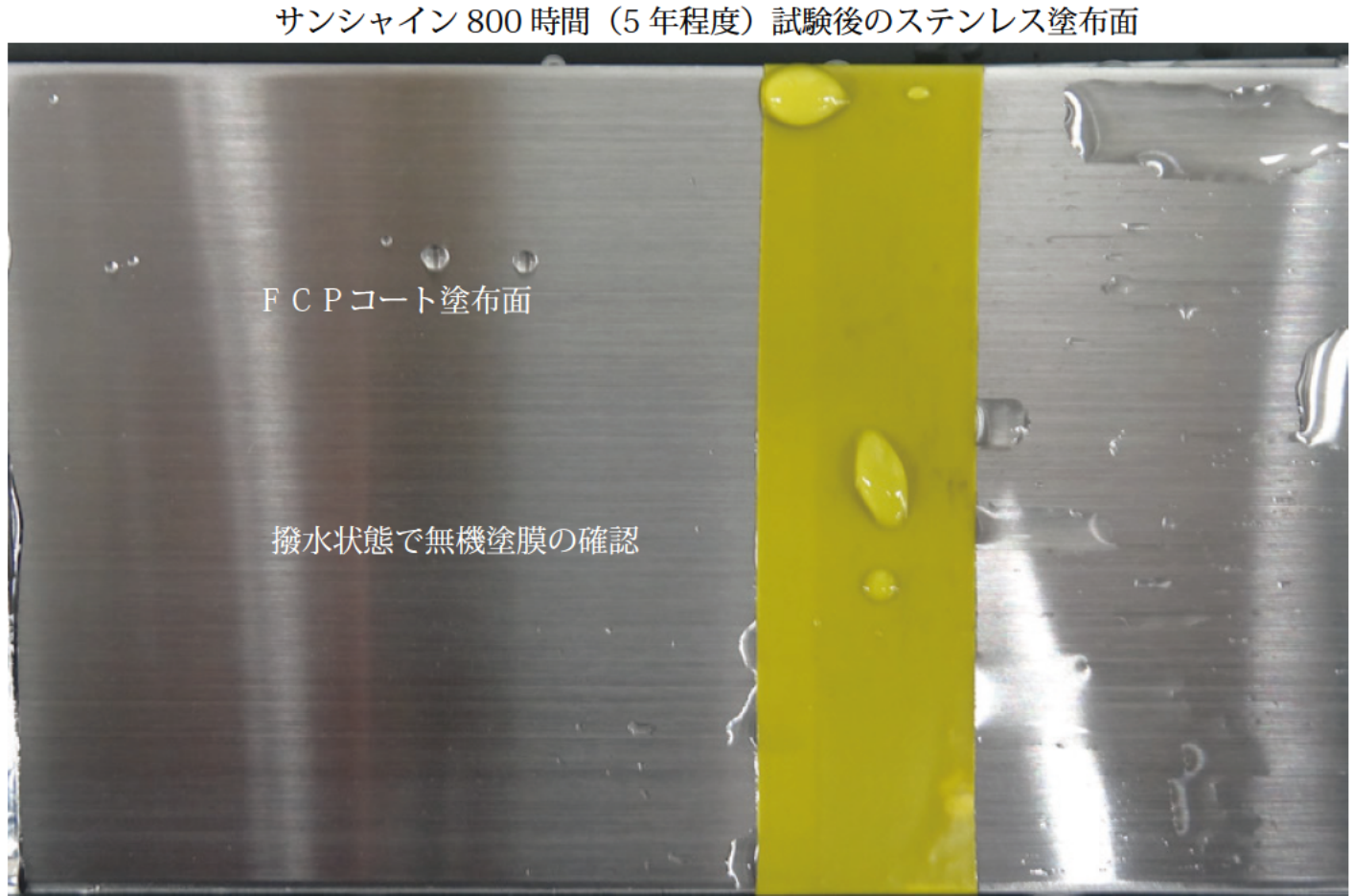
ステンレスの保護

銅板の保護

緑青の保護

アルミの保護

レガシー倶楽部認定施工店・認定施工販売店取り扱い製品



【 F C P コートの概要 】

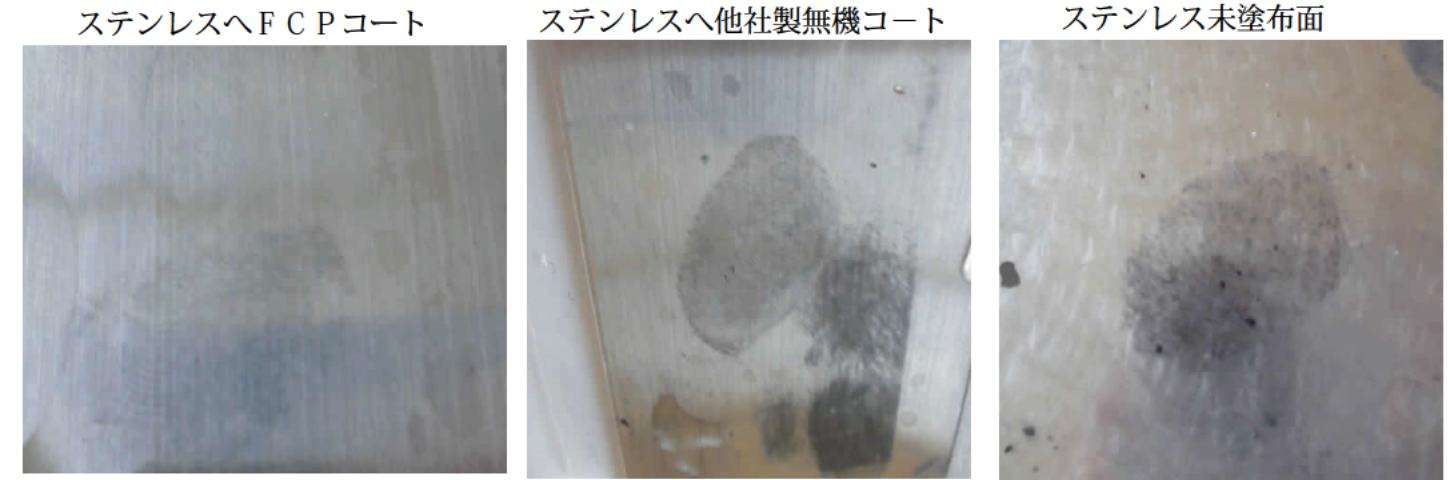
金属保護剤の問題点は金属との密着を確保する事です。金属表面は電荷を帯びているため電氣的反発により一般的な樹脂では密着不良を起こすことが判っています。非鉄金属の中でも銅板やアルミは表面電荷が高いため保護する事が難しいと言われています。FCP コートの金属に対する密着機構は、金属表面の酸化被膜と化学結合するよう設計しています。具体的には表面の酸化被膜の官能基としては水酸基が多いためこの水酸基と反応します。つまり金毒表面の電荷に関係なく密着させることができます

< FCP コートの特徴 >

- 1) 高耐候性、高密着性であるため屋外の銅などの非金属の保護剤としても使用できます。
- 2) 高硬度であるため膜が薄く綺麗に仕上がります。
- 3) 完全無機（ガラス）コートであり、指紋付着低減が期待できます。
- 4) 耐塩水性も高いため非金属の塩害防止でも使用することができます。

FCP コートは、非金属特にステンレスの指紋付着低減コートとしても使用することが可能です。ステンレスに指紋が付着すると油分が残る、そこから雑菌が繁殖したり、錆びたりします。初期の段階では指紋が付着している部分が判らない為に、ふき取ることが難しいのが現状です。ステンレスのヘヤーラインは、その凸凹に指紋の油が付着しやすくなります

< FCP コートの指紋付着観察 >



黒粉による指紋付着程度は、未塗布や他社コートに比べ明らかに薄いことが判ります

< F C P コートの性能を示します。完全無機コートですので高耐候性であることが判ります >

項 目	試 験 方 法		合 否 基 準	合 否
硬 度	JIS5400 8.4	鉛筆ひっかき値		8 H
付着性	JIS5400 8.4.2	テープ法	100/100	合 格
耐衝撃性	JIS5400	投下式	H50 c mで異常観察	合 格
耐沸騰水	JIS5400	沸騰水に浸漬	4 h r 浸漬で観察	合 格
耐水試験	JIS5400 8.19	水に浸漬	240 h r で観察	合 格
耐アルカリ試験	JIS5400 8.21	水酸化 Ca に浸漬	7 日浸漬で観察	合 格

項 目	試 験 方 法		合 否 基 準	合 否
塩水試験	JISZ2371	塩水噴霧	860 h r で観察	合 格
耐候性試験	JIS5600 7.7	カーボンアーク式	800 h r で観察	合 格
冷熱試験	JIS5400	150 ～ -20℃	20 回繰り返し	合 格